



## 平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 協立電機株式会社  
コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	15,475	8.7	525	12.9	530	△15.3	341	△12.4
27年6月期第2四半期	14,239	1.8	465	11.6	627	25.1	389	26.2

(注)包括利益 28年6月期第2四半期 272百万円 (△41.2%) 27年6月期第2四半期 463百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年6月期第2四半期	85.26	—
27年6月期第2四半期	98.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第2四半期	22,403	8,723	37.4
27年6月期	21,521	8,571	38.2

(参考)自己資本 28年6月期第2四半期 8,368百万円 27年6月期 8,226百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
通期	31,000	5.0	1,000	20.1	1,100	5.1	630	0.0

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期2Q	4,369,200 株	27年6月期	4,369,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年6月期2Q	359,316 株	27年6月期	372,516 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期2Q	4,003,777 株	27年6月期2Q	3,961,857 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、中国経済の減速及びこの影響を強く受けた欧州やASEAN諸国等の中国依存度の高い経済も減速し、さらにこれらによって引き起こされた資源価格の低下、とりわけ生産過剰が著しい原油価格の低落が資源輸出国経済を直撃し、加えて平成27年12月に実施した米国政策金利の引上げも新興国の通貨下落を通じて世界経済にはマイナスの影響を与えました。これらの外部環境の悪化を受けた我が国経済は総じて緩やかな回復を続けていますが、製造業等では海外経済の環境悪化の落ち着き先を見極めるまで設備投資を見合わせる動きもあり、この期間における我が国経済は比較的弱い動きを示す状況下で推移しました。

当社グループとしましては、比較的堅調に推移している日系製造業の海外設備投資案件を海外ネットワークを活かして確実に取り込む努力を続けておりその成果もでてきておりますが、為替に関して前年同四半期に大きく発生した為替差益が当期は若干の差損に転じたことから、前年同四半期と比較し、増収減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は154億75百万円（前年同期比8.7%の増）となり、第2四半期時点で過去最高となりました。損益面としましては、営業利益が5億25百万円（同12.9%の増）、経常利益が5億30百万円（同15.3%の減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億41百万円（同12.4%の減）となりました。

なお、当社のセグメント別概況は次のとおりです。

## &lt;インテリジェントFAシステム事業&gt;

インテリジェントFAシステム事業では、太陽光システムビジネス等で利幅が薄い大口システムビジネスの売上が多かったため、売上高はほぼ前年並みを確保できましたが、減益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は51億54百万円（前年同四半期比0.2%の減）、営業利益は79百万円（同67.8%の減）となりました。

## &lt;IT制御・科学測定事業&gt;

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第2四半期連結累計期間においてはメカトロニクス関連ビジネスや小型の計測・制御装置の取引が順調に推移したため、増収増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は102億79百万円（前年同四半期比13.7%の増）、営業利益は6億12百万円（同65.3%の増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計額は224億3百万円で、前連結会計年度末に比べ8億82百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が11億16百万円増加し、有価証券の減少額3億31百万円等を上回ったこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が136億80百万円で、前連結会計年度末に比べ7億30百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合計した仕入債務が5億4百万円増加したこと及び長期借入金が4億円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が87億23百万円で、前連結会計年度末に比べて1億51百万円の増加となりました。これは主として株価下落によりその他有価証券評価差額金が80百万円減少しましたが、四半期純利益計上等による利益剰余金が2億1百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の世界主要国の経済情勢は、平成27年12月に政策金利の引上げを行った米国経済も足元では減速傾向を見せしており、中国やASEAN諸国も軒並み成長率を落とし世界経済に暗雲が立ち込めていた状況下、デフレからの脱却が思い通りに進行せず、物価上昇率が一向に上がらない日本経済に対し日銀がマイナス金利の導入というカンフル剤を投入し、今後この効果がどのように出てくるのか注視する必要があります。

斯様な環境下、当社グループは十数年にわたり築き上げてきた海外子会社網の海外展開が着実に成果を結び、重要顧客である大手製造業の海外設備投資に海外子会社を含めたグループ総合力にて積極的に関与できること、現地化が進む日系製造業各社に対してもさらなる取引の深耕が期待できること等より海外を絡めたさらに一層の取引の増加が期待できるところであります。

国内においても、従来から注力してきた半導体基板検査装置ではX線を使用した最新の検査装置等が順調に推移しており、加えてモノとモノとをインターネットで繋ぐIoT (Internet of Things) の普及が今後急速に進むことが予想され、当社グループの強みであるインテリジェントFA技術を土台にIoTの普及を睨んだ新たな展開への布石を打っております。さらに昨年6月に静岡県内の企業として初めて「エネマネ事業者」として採択されたことにより、補助金対象として登録された当社グループ製品の拡販にも力を入れ、省エネ・環境配慮型製品も今後大きく取引を伸張させることができると考えております。

以上により、平成28年6月期の通期業績予想につきましては、平成27年8月10日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	977,436	940,605
受取手形及び売掛金	9,671,073	10,208,733
電子記録債権	738,534	1,317,715
有価証券	452,903	121,120
商品及び製品	401,551	343,513
仕掛品	321,278	437,868
原材料	564,506	633,341
その他	472,891	534,703
貸倒引当金	△27,997	△31,199
流動資産合計	13,572,176	14,506,402
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,693,429	4,905,279
その他(純額)	926,426	918,861
有形固定資産合計	5,619,856	5,824,140
無形固定資産		
	110,048	108,811
投資その他の資産		
投資有価証券	1,591,300	1,478,502
その他	686,468	544,094
貸倒引当金	△58,392	△58,356
投資その他の資産合計	2,219,376	1,964,241
固定資産合計	7,949,281	7,897,192
資産合計	21,521,458	22,403,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,541,358	6,840,303
電子記録債務	707,793	913,700
短期借入金	2,600,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	18,075	-
未払法人税等	304,168	228,384
賞与引当金	127,525	103,953
役員賞与引当金	34,650	-
その他	782,040	700,718
流動負債合計	11,115,611	11,587,060
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,500,000
退職給付に係る負債	184,783	190,732
その他	549,868	402,733
固定負債合計	1,834,651	2,093,465
負債合計	12,950,263	13,680,526

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,852,934	1,858,304
利益剰余金	5,158,264	5,359,737
自己株式	△458,150	△441,986
株主資本合計	7,994,489	8,217,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,008	151,308
その他の包括利益累計額合計	232,008	151,308
非支配株主持分	344,696	354,264
純資産合計	8,571,194	8,723,069
負債純資産合計	21,521,458	22,403,595



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	14,239,199	15,475,411
売上原価	11,963,842	13,129,245
売上総利益	2,275,356	2,346,166
販売費及び一般管理費	1,809,886	1,820,543
営業利益	465,469	525,622
営業外収益		
受取利息	6,536	4,881
受取配当金	12,791	10,530
仕入割引	17,593	17,334
為替差益	127,017	-
雑収入	9,468	14,492
営業外収益合計	173,407	47,238
営業外費用		
支払利息	9,448	7,707
手形売却損	456	375
売上割引	1,668	1,542
為替差損	-	29,258
雑損失	38	2,993
営業外費用合計	11,611	41,877
経常利益	627,266	530,983
特別利益		
固定資産売却益	469	2,032
投資有価証券売却益	33,785	41,228
受取保険金	-	40,843
保険差益	496	-
段階取得に係る差益	2,498	-
特別利益合計	37,249	84,104
特別損失		
固定資産除却損	273	99
固定資産売却損	-	6
投資有価証券評価損	-	32,069
特別損失合計	273	32,174
税金等調整前四半期純利益	664,242	582,913
法人税等	251,135	213,999
四半期純利益	413,106	368,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,578	27,557
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,528	341,356

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	413,106	368,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,355	△96,624
その他の包括利益合計	50,355	△96,624
四半期包括利益	463,462	272,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432,469	260,656
非支配株主に係る四半期包括利益	30,992	11,632

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	664,242	582,913
減価償却費	79,629	89,956
のれん償却額	5,906	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29,363	3,165
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,038	△23,572
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,100	△34,650
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,270	5,948
受取利息及び受取配当金	△19,328	△15,411
支払利息	9,448	7,707
為替差損益(△は益)	△112,546	14,692
受取保険金	-	△40,843
有形固定資産売却損益(△は益)	△469	△2,026
有形固定資産除却損	273	99
投資有価証券売却損益(△は益)	△33,785	△41,228
投資有価証券評価損益(△は益)	-	32,069
売上債権の増減額(△は増加)	△1,329,326	△1,116,841
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,443	△127,387
仕入債務の増減額(△は減少)	△374,734	504,851
その他	61,621	△291,510
小計	△1,186,744	△452,066
利息及び配当金の受取額	16,824	15,102
利息の支払額	△9,448	△7,707
保険金の受取額	501	50,681
法人税等の支払額	△146,686	△269,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,325,553	△663,829
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△322,013	△298,757
有形固定資産の売却による収入	807	23,040
無形固定資産の取得による支出	△20,321	△22,116
有価証券の取得による支出	-	△99,933
有価証券の償還による収入	-	99,933
定期預金の預入による支出	△9,001	△9,000
定期預金の払戻による収入	17,000	12,001
投資有価証券の取得による支出	△164,275	△185,807
投資有価証券の売却による収入	62,561	164,646
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	36,734	-
出資金の払込による支出	△2,000	-
貸付けによる支出	△94,700	△33,500
貸付金の回収による収入	47,626	196,296
その他	-	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△447,582	△153,186

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	580,000	200,000
長期借入れによる収入	800,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△19,133	△18,075
長期未払金の返済による支出	△6,219	△6,219
自己株式の取得による支出	-	△318
自己株式の売却による収入	119,203	21,853
配当金の支払額	△126,698	△139,554
非支配株主への配当金の支払額	△2,350	△2,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,344,803	455,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,825	△4,215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△355,507	△365,611
現金及び現金同等物の期首残高	1,366,561	1,420,838
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	16,688	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,027,742	1,055,226

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,163,180	9,044,202	14,207,383	31,816	14,239,199
セグメント間の内部売上高又は振替高	71,331	54,389	125,721	34,419	160,140
計	5,234,511	9,098,592	14,333,104	66,235	14,399,340
セグメント利益	246,143	370,447	616,590	50,458	667,049

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	616,590
「その他」の区分の利益	50,458
全社費用(注)	△201,579
四半期連結損益計算書の営業利益	465,469

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,154,643	10,279,378	15,434,022	41,389	15,475,411
セグメント間の内部売上高又は振替高	114,563	47,708	162,272	35,014	197,286
計	5,269,207	10,327,086	15,596,294	76,403	15,672,698
セグメント利益	79,303	612,461	691,764	61,546	753,311

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	691,764
「その他」の区分の利益	61,546
全社費用(注)	△227,688
四半期連結損益計算書の営業利益	525,622

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。